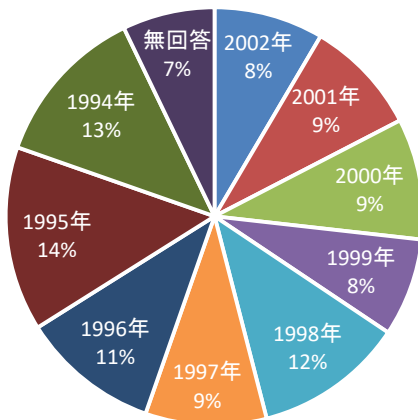


卒業後のキャリアに関するアンケート調査結果（卒業後20年前後）

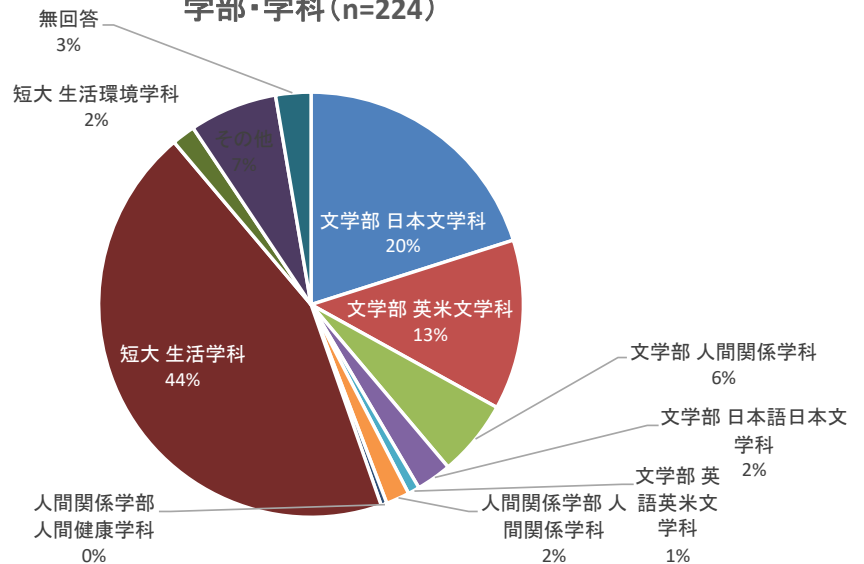
調査対象 卒業後18年～26年（1994年3月卒～2002年3月卒）の本学卒業生
 調査期間 2020年7月1日～2020年8月31日
 調査方法 郵送による配布・回収
 回収状況

発送数	有効回収数	有効回収率
4,610通	224通	4.85%

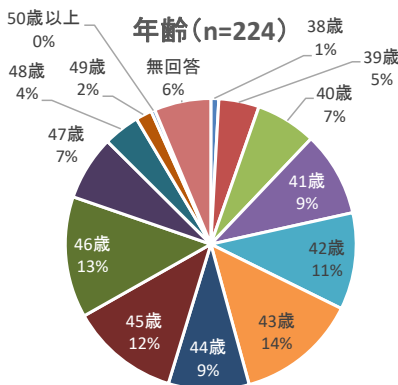
卒業年 (n=224)



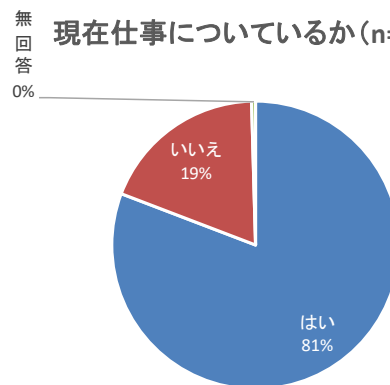
学部・学科 (n=224)



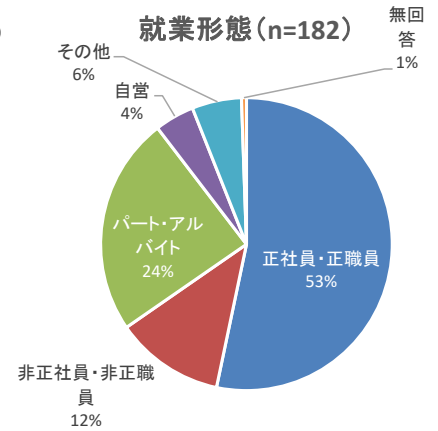
年齢 (n=224)



現在仕事についているか (n=224)

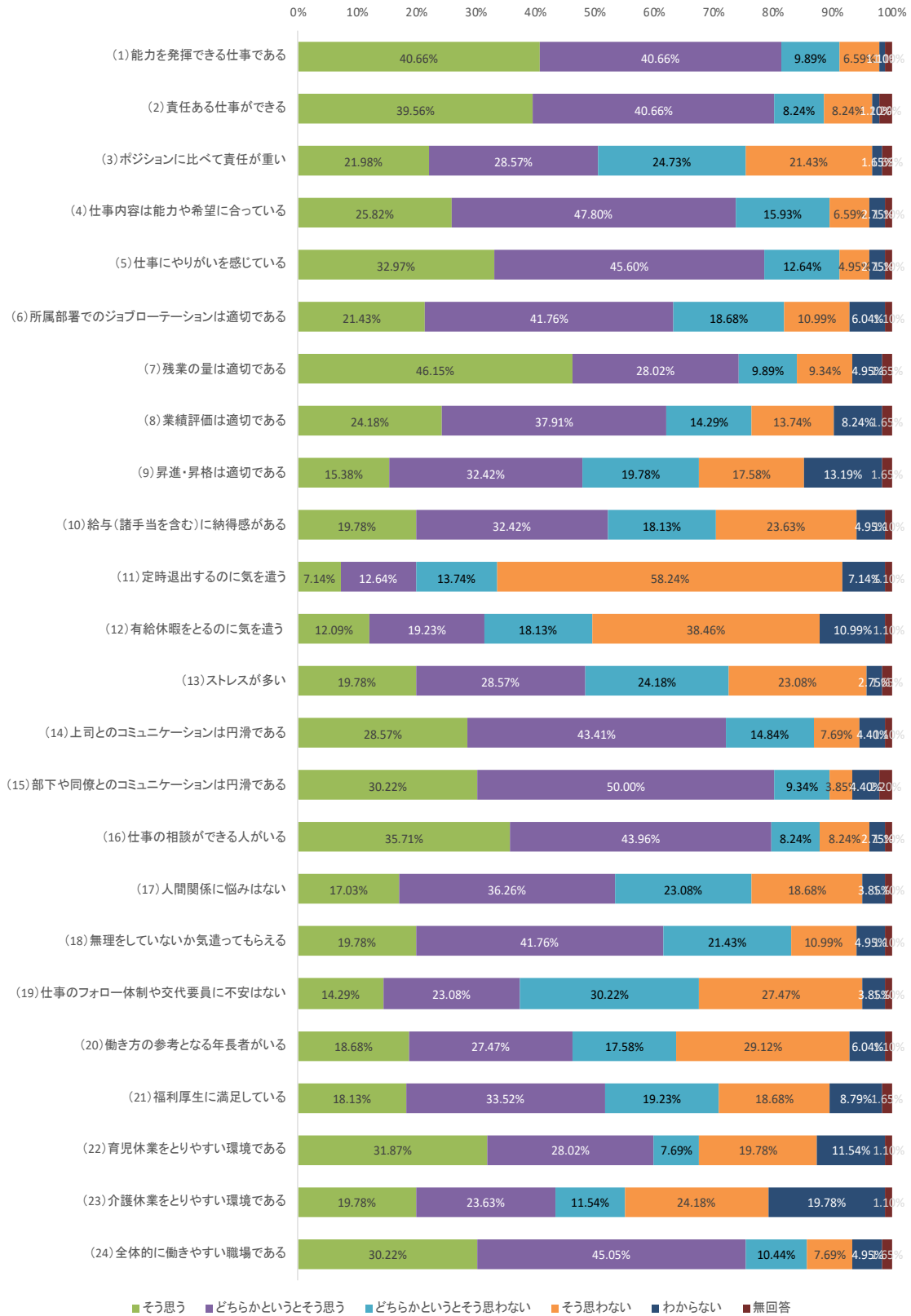


就業形態 (n=182)

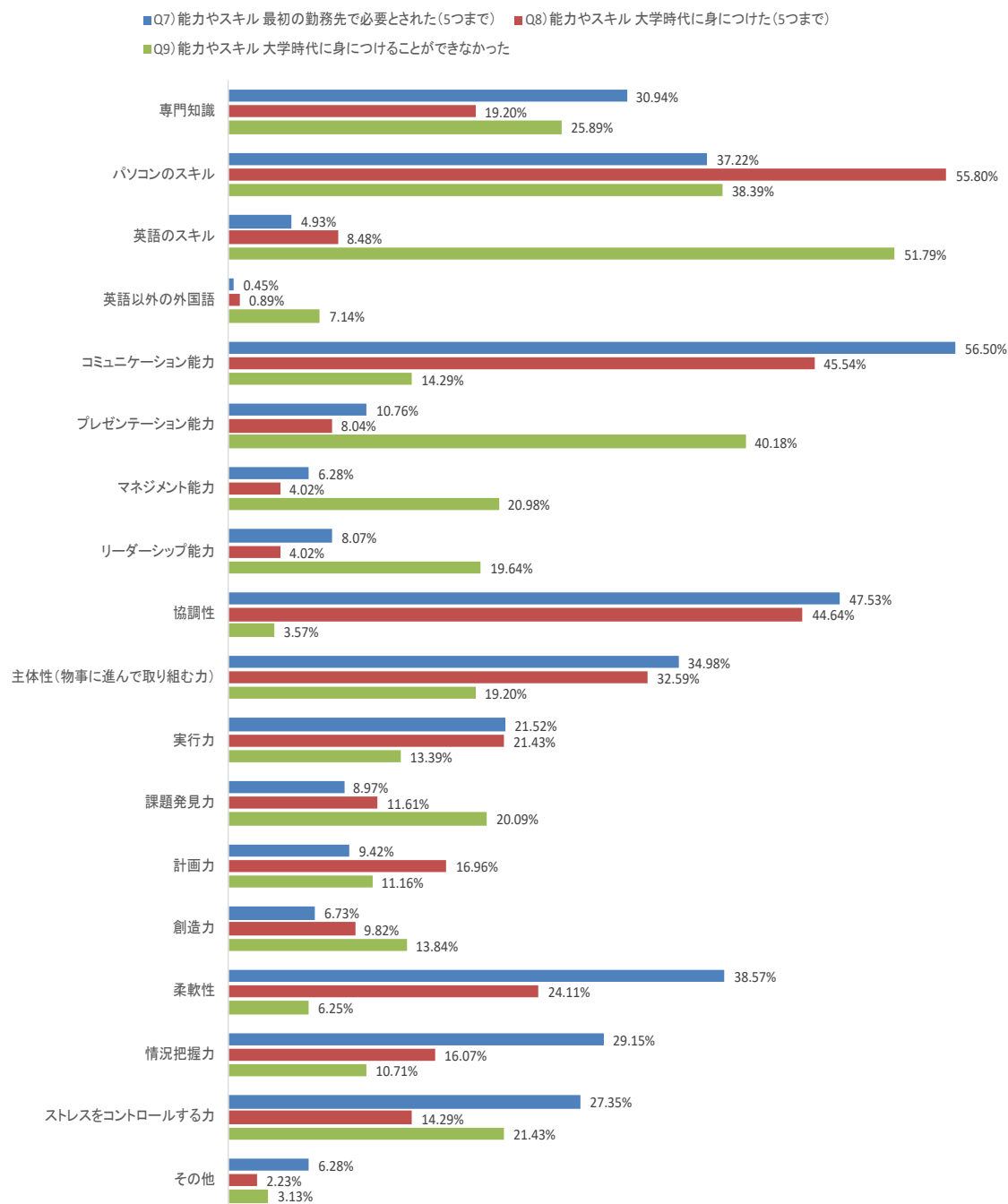


就業形態（その他）：会社経営、フリーランス、会社役員、嘱託職員 など

現在のあなたの仕事について(n=182)



必要とされたスキル、大学で身につけたスキル、身につけなかったスキルの比較



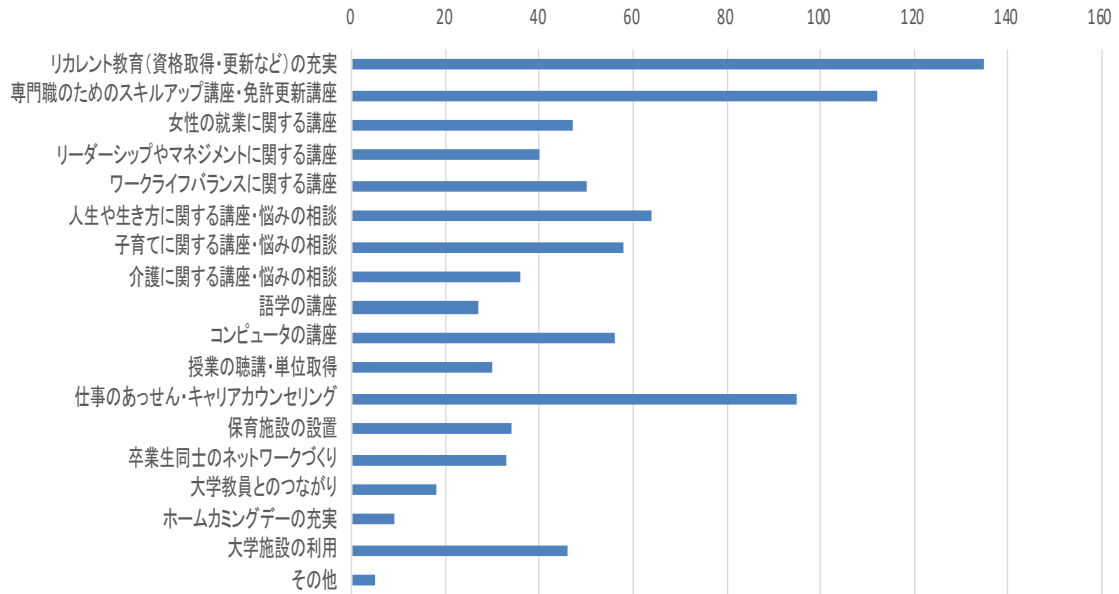
最初の勤務先で必要とされたスキル (その他)：変化に対応する力、体力、交渉力、計算力など

大学で身につけたスキル (その他)：楽しむ力、観察力など

大学で身につけることができなかった外国語：中国語、スペイン語

大学で身につけることができなかったスキルで重要だと思うもの (その他)：簿記、手話、持続力、ITスキル、キャリアプランニング力

必要だと思う卒業生支援(n=224)

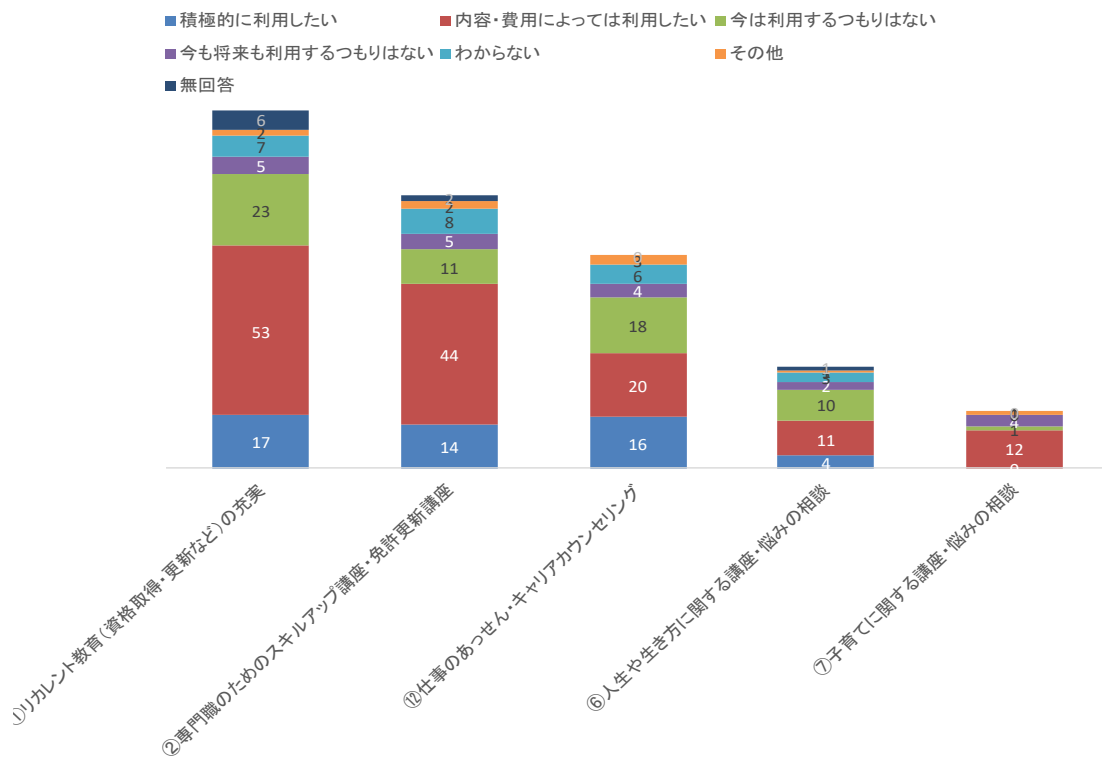


その他（語学）：英語、ビジネス英語（電話やメール）、中国語

その他（コンピューター講座）：経理ソフト、CAD、ワード、エクセル、パワーポイント、プログラミング など

その他：簿記など、趣味の講座、資格取得のための短期講座

利用したい卒業生支援__上位5つ



2020年度卒業後のキャリアに関するヒアリング調査結果（卒業後20年前後）

調査対象	卒業後18年～26年（1994年3月卒～2002年3月卒）の本学卒業生
調査期間	2021年1月30日～2021年4月3日
調査方法	2020年度アンケート調査回答者へのヒアリング調査（対面・オンライン）
対象者の属性	年齢：42歳～47歳 卒業年：1994年～2000年 職種：専門職9名（管理職3名を含む）、事務職1名

女性キャリア開発研究センターでは、2017年度に「卒業後5年未満」の卒業生15名、2019年度には「卒業後10年前後」の卒業生12名、そして2020年度に「卒業後20年前後」の卒業生10名に対して、キャリアに関するヒアリング調査を行い、先行して実施したアンケート調査を補完するデータを収集しました。

ヒアリング調査対象者

	職種	就業形態	業種	転職経験	学部
A	専門職	正規	教育・学習支援業	有	文学部（英文）
B	専門職	正規	教育・学習支援業	有	文学部（日文）
C	専門職	正規	教育・学習支援業	有	短大（生活）
D	専門職	正規	医療・福祉	有	短大（生活）
E	専門職	非正規	教育・学習支援業	有	文学部（日文）
F	専門職	非正規	公務	有	短大（生活）
G	専門職／管理職	正規	医療・福祉	有	文学部（人関）
H	専門職／管理職	正規	医療・福祉	有	文学部（日文）
I	専門職／管理職	正規	貿易業	有	文学部（英文）
J	事務職	正規	製造業・卸売業	無	短大（生活）

本学は専門職養成（医療・福祉、栄養士、教員）の教育課程が多いため、「専門・技術的な仕事」に従事する割合が高い傾向にあります（「卒業後5年未満」44%）が、「卒業後10年前後」では31%、「卒業後20年前後」では24%に減少し、代わりに「事務系の仕事」が増加します。本学が専門職養成の学科を拡大しているためと考えられますが、一方で、非専門職系の学科を卒業しても、その後に資格を取得し「医療・福祉」の専門職として就業するケースが10例中3例もありました。

アンケート調査によれば、転職によって現在の仕事を得た人の割合は、当然のことながら年齢が上がるほど増加しており（卒業後「5年未満」3割、「10年前後」7割、「20年前後」8割）、今回のヒアリング調査でも転職経験のない人は1人しかいませんでした。また、経営者や管理職も3例みられ、マネジメント世代のための支援プログラムが求められていることもわかりました。